

令和8年度

# 運営に関する計画

大阪市立大正西中学校

令和8年4月

## 1 学校運営の中期目標

### 現状と課題

学校教育目標「人間尊重の教育を基盤に、豊かな心と自ら学ぶ意欲を育て、「生きる力」を育む教育活動を推進する」ことを目指して、生徒とのコミュニケーションを大切に、常に生徒一人ひとりをしっかりと見つめた「いじめ」のない学校づくり、保護者の理解・協力を培いながらの規律ある生活指導、基礎基本の定着を重視した学習指導に力点を置いて取り組んだ。その成果は、授業2分前入室や授業離脱生徒0の実現、服装・頭髪違反者数や遅刻数や器物破損数の大幅な減少等、様々な面で現れている。しかし、学習面では、授業を大切にする気持ちは高まっているが、基礎・基本の定着には大きな課題が残る。

また、家庭の状況や友人関係など要因は様々であるが、不登校の克服も本校の大きな課題である。

### 中期目標

#### 【安全・安心な教育の推進】

- 令和 11 年度目標アンケートにおける「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を 87%以上にする。
- 令和 11 年度目標アンケートにおける「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を 88%以上にする。
- 令和 11 年度末の校内調査において、不登校生徒の在籍比率を前年度より減少させる。
- 令和 11 年度末の校内調査において、前年度不登校生徒の改善の割合を増加させる。
- 令和 11 年度目標アンケートにおける「自分には、よいところがありますか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を 85%以上にする。
- 令和 11 年度目標アンケートにおける「キャリア教育を通して、自分の将来について考えることができた」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を 85%以上にする。
- 令和 11 年度目標アンケートにおける「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることが出来ていますか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を 85%以上にする。

#### 【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 中学生チャレンジテストにおける、国語の平均正答率の対府比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 0.01 ポイント向上させる。
- 中学生チャレンジテストにおける、数学の平均正答率の対府比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 0.01 ポイント向上させる。
- 年度目標アンケートにおける「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を 93%以上にする。
- 大阪市英語力調査における C E F R A 1 レベル相当以上の英語力を有する中学 3 年生の割合を 45%以上にする。
- 令和 11 年度目標アンケートにおける「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を 50%以上にする。
- 令和 11 年度目標アンケートにおける「規則正しい生活（「朝食を毎日食べること」「毎日、同じくらの時刻に寝て、同じくらの時刻に起きること」）が大切だと思う」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を 83%以上にする。

### 【学びを支える教育環境の充実】

- 令和 11 年度目標アンケートにおける「学習者用端末を活用して、調べた情報をもとに、課題を解決するために情報を収集・整理し、まとめ・表現する取組をしていますか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を 70%以上にする。
- 令和 11 年度目標アンケートにおける「授業で学習者用端末をどの程度使用しましたか。」に対して、週 3 回以上と回答する生徒の割合を 70%以上にする。
- 令和 11 年度目標アンケートにおける「インターネットや生成 A I、SNS 等を活用する時に、情報の確かさを確認したり、悪口やいじめにつながる内容を扱わないよう注意していますか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を 80%以上にする。
- I C T 機器の整備と活用を推進し、授業を中心に、すべての学年や学級で生徒が I C T 機器を活用した活動を行う。
- 令和 11 年度の校内調査において、「学校では、命の大切さや社会ルールについて学ぶ機会が多い」の項目で肯定的に答える生徒の割合を 94%より向上させる。
- 令和 11 年度の校内調査において、「家で学校の授業の復習をしている」の項目で肯定的に答える生徒の割合を 54%より向上させる。
- 時間外勤務時間について、月 40 時間以上実施する教員を 0 にする。

## 2 学校運営の年度目標

### 【安全・安心な教育の推進】

#### 大阪市教育振興基本計画に掲げる目標（施策目標）を達成するための年度目標

- 年度目標アンケートにおける「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を 87%以上にする。(R7:86.8%)
- 年度目標アンケートにおける「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を 88%以上にする。
- 年度目標アンケートにおいて、不登校生徒の在籍比率を前年度 (R7:8.29%) より減少させる。
- 年度目標アンケートにおいて、前年度不登校生徒の改善の割合 (R7:25.0%) を増加させる。

#### 学校の年度目標

- 年度目標アンケートにおける「自分には、よいところがありますか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を 85%以上にする。
- 年度目標アンケートにおける「キャリア教育を通して、自分の将来について考えることができた」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を 85%以上にする。
- 年度目標アンケートにおける「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることができていますか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を 85%以上にする。
- 定期的（年 2 回以上）の避難訓練や防災訓練を通して防災意識を毎年高め、地域とともに歩む防災・減災計画に参画する。

### 【未来を切り拓く学力・体力の向上】

#### 大阪市教育振興基本計画に掲げる目標（施策目標）を達成するための年度目標

- 中学生チャレンジテストにおける、国語の平均正答率の対府比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 0.01 ポイント向上させる。
- 中学生チャレンジテストにおける、数学の平均正答率の対府比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 0.01 ポイント向上させる。

○年度目標アンケートにおける「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を 93%以上にする。

○大阪市英語力調査における C E F R A 1 レベル相当以上の英語力を有する中学 3 年生の割合を 45%以上にする。(R7:43.6%)

#### 学校の年度目標

○年度目標アンケートにおける「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を 50%以上にする。

○年年度目標アンケートにおける「規則正しい生活（「朝食を毎日食べること」「毎日、同じくらいの時刻に寝て、同じくらいの時刻に起きること」）が大切だと思う」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を 83%以上にする。

#### 【学びを支える教育環境の充実】

#### 大阪市教育振興基本計画に掲げる目標（施策目標）を達成するための年度目標

○年度目標アンケートにおける「学習者用端末を活用して、調べた情報をもとに、課題を解決するために情報を収集・整理し、まとめ・表現する取組をしていますか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を 70%以上にする。

○年度目標アンケートにおける「授業で学習者用端末をどの程度使用しましたか。」に対して、週 3 回以上と回答する生徒の割合を 70%以上にする。

○年度目標アンケートにおける「インターネットや生成 A I、S N S 等を活用する時に、情報の確かさを確認したり、悪口やいじめにつながる内容を扱わないよう注意していますか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を 80%以上にする。

#### 学校の年度目標

○ I C T 機器の整備と活用を推進し、授業を中心に、すべての学年や学級で生徒が I C T 機器を活用した活動を行う。

○年度目標アンケートにおいて、「学校では、命の大切さや社会ルールについて学ぶ機会が多い」の項目で肯定的に答える生徒の割合を 94%より向上させる。

○年度目標アンケートにおいて、「家で学校の授業の復習をしている」の項目で肯定的に答える生徒の割合を 54%より向上させる。

○時間外勤務時間について、月 40 時間以上実施する教員をゼロにする。

### 3 本年度の自己評価結果の総括

大阪市立 (学校園名) 令和 8 年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した B: 目標どおりに達成した  
C: 取り組んだが目標を達成できなかった D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p><b>【安全・安心な教育の推進】</b></p> <p><b>大阪市教育振興基本計画に掲げる目標（施策目標）を達成するための年度目標</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○年度目標アンケートにおける「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を 87%以上にする。</li> <li>○年度目標アンケートにおける「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を 88%以上にする。</li> <li>○年度目標アンケートにおいて、不登校生徒の在籍比率を前年度 (R7:8.29%) より減少させる。</li> <li>○年度目標アンケートにおいて、前年度不登校生徒の改善の割合 (R7:25.0%) を増加させる。</li> </ul> <p><b>学校の年度目標</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○年度目標アンケートにおける「自分には、よいところがありますか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を 85%以上にする。</li> <li>○年度目標アンケートにおける「キャリア教育を通して、自分の将来について考えることができた」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を 85%以上にする。</li> <li>○年度目標アンケートにおける「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることが出来ていますか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を 85%以上にする。</li> <li>○定期的 (年 2 回以上) の避難訓練や防災訓練を通して防災意識を毎年高め、地域とともに歩む防災・減災計画に参画する。</li> </ul>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向 1 安全・安心な教育環境の実現】 (学校運営)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・安全・安心な教育環境の整備を行い開かれた学校づくりを推進する。</li> </ul> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページや学校だより・ミマモルメを活用し、積極的に情報発信を行う。</li> </ul>	
<p>取組内容②【基本的な方向 1 安全・安心な教育環境の実現】 (学校運営)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・津波や防災の訓練を通して、安全な避難と防災の教育・指導に努める。</li> </ul> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年 2 回以上の避難訓練の実施。</li> <li>・年度目標アンケートにおいて、「事件や事故、災害が発生したとき、どうしたらよいかわかっている」の項目で肯定的に答える生徒の割合を前年度 (89.0%) より向上させる。</li> </ul>	
<p>取組内容③【基本的な方向 1 安全・安心な教育環境の実現】 (学校運営)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校行事を通じ、人とのつながりを感じられる、いじめを生まない学校づくりを進める。</li> </ul> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年度目標アンケートにおいて、「困ったときに相談できる先生がいる」の項目で肯定的に答える生徒の割合を前年度 (87.0%) より向上させる。</li> </ul>	

<p>取組内容④【基本的な方向2 豊かな心の育成】(道徳心・社会性の育成①)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特別活動や総合的な学習の時間、道徳の授業を通じて、いじめや仲間はずれを許さない、一人ひとりを大切にする人権教育を実施する。学年や学級での取り組みを充実させ、体育大会や文化祭等の学校行事の中で、その成果を発揮し、充足感を得られる生徒集団の育成を図る。</li> </ul>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人権教育実践や、学校・学年での取り組みに向けて、外部人材の活用を視野に入れ、それによる教育活動を1回以上実施する。</li> </ul>	
<p>取組内容⑤【基本的な方向2 豊かな心の育成】(道徳教育)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自らはかけがえのない大切な存在であると実感し、他者を思いやる気持ちを育む。</li> </ul>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・22の内容項目をもれなく満たす授業を年間35時間以上おこなう。</li> </ul>	
<p>取組内容⑥【基本的な方向2 豊かな心の育成】(芸術鑑賞)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の自己肯定感・自己有用感の改善に向けた教育活動の充実を図るべく、全校生徒に対し、芸術鑑賞の機会を設ける。また、鑑賞内容は、毎年分野を変更し、3年間のすべてで新しい分野の芸術に触れる機会を設ける。今年度は「音楽系芸能」を鑑賞することで、さまざまなジャンルの音楽に触れ、音楽の世界の魅力、表現活動のすばらしさを知る機会とする。</li> </ul>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・演奏者のパフォーマンスから、音楽の魅力を生徒に感じ取らせ、事後アンケートで行事の満足度・充実度を85%以上にする。</li> </ul>	
<p>取組内容⑦【基本的な方向1、安全・安心な教育環境の実現】(道徳性・社会性の育成②)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的生活習慣の定着を図り、規律ある集団の育成に努める。</li> </ul>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・登下校時の交通安全指導と交通ルールを厳守し、安全なルートでの登下校と交通事故件数「0」を目指す。</li> <li>・校内調査における「学校の決められた服装やルールを守っている」の項目について、「当てはまる」と答える生徒の割合を80%以上にする。</li> </ul>	
<p>取組内容⑧【基本的な方向1、安全・安心な教育環境の実現】(道徳性・社会性の育成②)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日々の相談活動を中心とし、生徒個々の生活背景や実態を正しく把握し、生徒理解・課題解決に向け取り組む。</li> </ul>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年間2回以上の生徒実態調査と外部講師による生活指導講話を実施する。</li> <li>・保護者・地域・関係諸機関との連携を密にするとともに、教職員間でその情報を共有し、組織的に対応できる体制を構築する。</li> </ul>	
<p>取組内容⑨【基本的な方向2 豊かな心の育成】(進路)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各学年の発達段階に応じてキャリア教育を推進し、道徳心・社会性の育成を図る。</li> </ul>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学年ごとの指針に従って、年1回以上のキャリア教育を実施する。</li> </ul>	
<p>取組内容⑩【基本的な方向2 豊かな心の育成】(特別支援教育の充実)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・障がいの知識や生徒の特性などを教員に定着させる。</li> </ul>	

<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年に1回以上障がいの知識や特性などについての特別支援教育研修会を実施する。</li> <li>・生徒の特性や発達段階に応じ、各学年会や職員会議で情報共有を行う。</li> <li>・支援教育にかかわる研修会に積極的に参加できるよう、職員会議等や skip を活用し、連絡・案内する。</li> </ul>	
<p>取組内容⑪【基本的な方向2 豊かな心の育成】(特別支援教育の充実)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒一人ひとりの特性に応じた授業や日常生活に必要な支援を行う。</li> </ul>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の特性や発達に応じ、入り込み指導や抽出指導を計画、実施する。</li> <li>・個別の教育支援計画・指導計画を作成し、活用する。</li> <li>・学年会や職員会議、または職員朝礼や学年打ち合わせで情報交換をする。</li> <li>・生徒の成長に応じた支援の仕方や授業の形式を本人・保護者・特別支援教育担当者で相談し、適宜変更、実施する。</li> </ul>	
<p>取組内容⑫【基本的な方向2 豊かな心の育成】(特別支援教育の充実)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の様子を普段から観察し、電話連絡や連絡ファイルを通して、保護者と情報を共有する。</li> </ul>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭からの連絡を受け、情報を共有する。</li> <li>・連絡ファイルや入り込みの記録用紙を活用し、学校からの情報提供と提出物の支援を行う。</li> <li>・授業内での小テストや家庭学習用の課題プリントによる学力定着をはかる。</li> </ul>	
<p>取組内容⑬【基本的な方向2、豊かな心の育成】(音楽)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽での学びを通し、感性を育み、想像力を膨らませ、豊かな心を養う</li> </ul>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年間に4つ以上の音楽のジャンルを取り組む。器楽を年2回取り組む。</li> </ul>	
<p>取組内容⑭【基本的な方向2、豊かな心の育成】(美術)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・美術史の作品鑑賞を定期的に行い、多種多様な思想や表現方法があることを学ぶ。</li> </ul>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・美術史等の冊子を用いた授業を毎学期取り組む。</li> </ul>	
<p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>	
<p>次年度への改善点</p>	

大阪市立 (学校園名) 令和 8 年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p><b>【未来を切り拓く学力・体力の向上】</b></p> <p><b>大阪市教育振興基本計画に掲げる目標 (施策目標) を達成するための年度目標</b></p> <p>○中学生チャレンジテストにおける、国語の平均正答率の対府比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 0.01 ポイント向上させる。</p> <p>○中学生チャレンジテストにおける、数学の平均正答率の対府比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 0.01 ポイント向上させる。</p> <p>○年度目標アンケートにおける「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を 93%以上にする。</p> <p>○大阪市英語力調査における C E F R A 1 レベル相当以上の英語力を有する中学 3 年生の割合を 45%以上にする。</p> <p><b>学校の年度目標</b></p> <p>○年度目標アンケートにおける「運動 (体を動かす遊びを含む) やスポーツをすることは好きですか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を 50%以上にする。</p> <p>○年度目標アンケートにおける「規則正しい生活 (「朝食を毎日食べること」「毎日、同じくらいの時刻に寝て、同じくらいの時刻に起きること」) が大切だと思う」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を 83%以上にする。</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向 4 誰一人取り残さない学力の向上】(学力向上)</p> <p>・教材や教具を工夫、活用して、授業を意欲的に受ける生徒を育てる。</p> <hr/> <p>指標</p> <p>・年度目標アンケートにおいて、「まじめに授業に取り組んでいる」の項目で、生徒の肯定的回答の割合を 94%以上にする。</p>	
<p>取組内容②【基本的な方向 5 健やかな体の育成】(健康・体力の保持促進)</p> <p>・生徒や保護者における「食」の重要性に対する意識の向上をめざし、朝食アンケート(食喫食アンケート)を実施する。その結果、「何も口にしていない」の項目に該当する生徒の割合を減少させる。</p> <hr/> <p>指標</p> <p>・朝食アンケートを前期 1 回、後期 1 回のそれぞれ 1 週間 (5 日間) 実施。1 週間 (5 日間) において「何も口にしていない」に該当する生徒の割合を全校生徒の 6%以下にする。</p>	
<p>取組内容③【基本的な方向 5 健やかな体の育成】(健康・体力の保持促進)</p> <p>・感染症等に対応できるよう、消毒液をはじめとした衛生用品の備蓄を充実させる。また、心肺蘇生やエピペンの使用などの緊急対応ができるよう研修の機会を持つ。</p>	

<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・緊急対応についての教員研修を年2回行う。</li> </ul>	
<p>取組内容④【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】(国語)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文章やグラフ、図表などの情報から正確に読みとる総合的な読解力を身につけ、論理的で説得力のある文章を書く力を養う。適宜、効果的に ICT 機器を用いる。</li> </ul>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学期に1回、文章を書き、グループで発表する授業を行う。</li> <li>・年度内に1回、自分が書いた文章を推敲する授業を行う。</li> <li>・学期に1回以上、一人一台端末を用いた授業を行う。</li> </ul>	
<p>取組内容⑤【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】(国語)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・伝統的な言語文化に親しみ、言葉の特徴やきまり・漢字などについて理解し、使う能力を養う。適宜、効果的に ICT 機器を用いる。</li> </ul>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・週1回、漢字の課題を課し、漢字小テストを行う。</li> <li>・文法の確認テストを各単元が終了次第、1回実施する。</li> <li>・歴史的仮名遣いなどの伝統的言語文化に関する小テストを学期に1回行う。</li> </ul>	
<p>取組内容⑥【基本的な方向4、誰一人取り残さない学力の向上】(社会)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教材開発や指導方法を工夫し、知識の定着を図る。</li> <li>・多様な資料から自ら考え説明し、文章として書く力を身に付けさせる。</li> </ul>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・週2回以上、自主プリントや副教材を活用して知識を定着させる。</li> <li>・教科書や資料集等の資料を積極的に活用し、テスト時に20点分以上の思考・判断・表現の門題を出題する。</li> </ul>	
<p>取組内容⑦【基本的な方向④、誰一人取り残さない学力の向上】(数学)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒一人ひとりの学習状況を踏まえ、習熟度別学習等の個に応じた指導を実施する。</li> <li>・補助教材を活用し、演習量を増やすことで学力の伸長を計る。</li> <li>・家庭学習を課すことで、基礎学力の定着を計る。</li> </ul>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的にノート・プリント・問題集等を提出させ、生徒の学習状況を把握する。</li> <li>・一週間に1回以上、小テストなどを通してプリントや問題集を解かせる。</li> <li>・定期テスト、チャレンジテスト前を中心に、計画的な補充学習を実施する。</li> </ul>	
<p>取組内容⑧【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】(理科)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・理科室を整備、器具の補充をし、実験観察の回数を全学年合計58種類以上行う。</li> </ul>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・理科室の整備・補充を行う。</li> <li>・年間58種類以上の実験・観察を行う。</li> </ul>	
<p>取組内容⑨【基本的な方向5、健やかな体の育成】(保健体育)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒一人ひとりの状況を把握しながら学校園における体力向上に向けた取組の推進</li> </ul>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全国体力・運動能力、運動習慣等調査における体力合計点の同一母集団において昨年度と比較し、2・3年生において体力合計点8ポイント以上向上させる。</li> </ul>	

<p>取組内容⑩【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】(技家)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・言語活動・理解教育の充実を目指し、「主体的・対話的で深い学び」の授業実現をめざす。</li> </ul>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「技術分野」において①全学年でプリントを両面印刷しており、主体的にテスト勉強で生かされるようにする。さらに、②授業ではペアワークやグループ活動、調べ学習などの課題を設定しており、その内容に応じ3～4段階で評価する。③実習を含む授業において制作物の仕上げ(完成)はオリジナルの作業や手を加える。2学期から年度末にかけてアンケートを実施して①②③の評価で肯定的な評価を56%以上得る。</li> <li>・「家庭分野」においては、全学年で教科書に準拠した授業用プリントを自作し、その中に内容を振り返り各自の習得内容をまとめる「OUTPUT」記入欄を授業プリント内に設ける。全授業の65パーセントで「OUTPUT」記入欄があるプリントを製作する。また、授業プリントを提出したその内容に応じ、3段階で評価する。</li> </ul>	
<p>取組内容⑪【基本的な方向4、誰一人取り残さない学力の向上】(英語)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・英語教育の強化のため、「聞くこと」「読むこと」「話すこと」「書くこと」の4技能を総合的に育む姿勢を養う。</li> </ul>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・C-NETを活用し、学期に1回以上、音読またはスピーキングのテストを実施する。</li> </ul>	
<p>取組内容⑫【基本的な方向4、誰一人取り残さない学力の向上】(英語)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・英語教育の強化のため、学んだことを家で復習し、積極的に自主学習する姿勢を養う。</li> </ul>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学期に3回以上小テストを行う。</li> <li>・スタディサプリ等を活用し、朝学等で配信を行う。</li> </ul>	
<p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>	
<p>次年度への改善点</p>	

大阪市立 (学校園名) 令和 8 年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p><b>【学びを支える教育環境の充実】</b></p> <p><b>大阪市教育振興基本計画に掲げる目標（施策目標）を達成するための年度目標</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○年度目標アンケートにおける「学習者用端末を活用して、調べた情報をもとに、課題を解決するために情報を収集・整理し、まとめ・表現する取組をしていますか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を 70%以上にする。</li> <li>○年度目標アンケートにおける「授業で学習者用端末をどの程度使用しましたか。」に対して、週 3 回以上と回答する生徒の割合を 70%以上にする。</li> <li>○年度目標アンケートにおける「インターネットや生成 A I、SNS 等を活用する時に、情報の確かさを確認したり、悪口やいじめにつながる内容を扱わないよう注意していますか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を 80%以上にする。</li> </ul> <p><b>学校の年度目標</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ I C T 機器の整備と活用を推進し、授業を中心に、すべての学年や学級で生徒が I C T 機器を活用した活動を行う。</li> <li>○年度目標アンケートにおいて、「学校では、命の大切さや社会ルールについて学ぶ機会が多い」の項目で肯定的に答える生徒の割合を 94%より向上させる。</li> <li>○年度目標アンケートにおいて、「家で学校の授業の復習をしている」の項目で肯定的に答える生徒の割合を 54%より向上させる。</li> <li>○時間外勤務時間について、月 40 時間以上実施する教員をゼロにする。</li> </ul>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向 6 教育 DX (デジタルトランスフォーメーション) の推進】(学力向上)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ I C T 機器を多くの場面で活用し、授業を意欲的に受ける生徒を育てる。</li> </ul> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 全教員が年 1 回以上の研究授業と年 2 回以上の授業見学を実施する。</li> <li>・ 授業はいつでも見学できることとし、I C T 機器活用方法の相互研鑽を行う。</li> </ul>	
<p>取組内容②【基本的な方向 4 誰一人取り残さない学力の向上】(学力向上)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学校図書館の活用を促進し、読書好きな生徒を増やして、言語力の向上に繋げる。</li> </ul> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学校図書館の開館を原則週に 5 回以上行う。</li> <li>・ 学級文庫を全教室に常置する。</li> <li>・ 昼休みの図書室利用者数を平均 13 名以上にする。</li> </ul>	
<p>取組内容③【基本的な方向 6 教育 DX】(進路)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生徒が自分の進路をみつけられるように、情報の検索方法を学習し、I C T 機器を活用した進路学習や活動を行う。</li> </ul> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各学年において、職業や進学先について、I C T 機器を活用した調べ学習を行い、自分の進路について考えを深める取組を年 1 回以上行う。</li> </ul>	

<p>取組内容④【基本的な方向9 家庭・地域等と連携・協働した教育の推進】(進路)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・進路情報を収集し、生徒・保護者に適切な情報を提供する。</li> <li>・地域の事業所(施設・商店など)と協働し、職場体験学習を行う。</li> </ul>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・進路説明会を年3回行い、うち2回は生徒も参加させることで、生徒・保護者が当事者としての意識を持って、協力して進路について考えていくようにする。</li> <li>・進路情報を周知するとともに、進路への意識を高めるため、進路通信を毎月発行する。</li> <li>・第2学年において職場体験学習を実施する。</li> </ul>	
<p>取組内容⑤【基本的な方向6、教育DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進】(社会)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ICT機器を使用し、デジタル教科書や視聴覚コンテンツを活用して、授業を意欲的に受ける生徒を育てる。</li> </ul>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・75%以上の授業で、デジタルコンテンツの活用機会を設ける。</li> <li>・カフートやスタディサプリを使用する機会を増やす。</li> </ul>	
<p>取組内容⑥【基本的な方向6 教育DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進】(理科)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒用タブレットを活用して、各学年、年1回調べ学習を行う。</li> </ul>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各学年、年に1回、ICT機器(タブレット)を用いた調べ学習を行い、文化祭などで展示を行う。</li> </ul>	
<p>取組内容⑦【基本的な方向6 教育DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進】(美術)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒がICT機器を活用した授業を行い、より広い視野で感性を向上させる。</li> </ul>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各学年の半分程度、ICT機器を活用した授業を行う。</li> </ul>	
<p>取組内容⑧【基本的な方向6 教育DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進】(技家)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一人1台端末の環境を生かし、最適な学びと協働的な学びの実現に向けた取組を実施する。さらに地域の文化に触れるような学習を取り入れる。</li> </ul>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・技術分野において、材料の加工もしくはデジタル(PC)、他、技術の授業で制作した作品を文化祭で展示発表する。さらに、生徒が思考・工夫したことを表現する課題やPCを利用した調べ学習などの課題を実施する。</li> <li>・家庭分野においては、一人一台端末を利用し、授業での調べ学習を行う。調べた内容を授業内で発表する機会を設け、生徒の思考・工夫したことを表現できる場を設定する。</li> </ul>	
<p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>	
<p>次年度への改善点</p>	